

浮き床栽培(麦)

2001年冬から2002年春の麦の浮き床栽培記録です。

主要作物である麦の浮き床栽培をしてみたいと思い、種を探しましたが何処にもありませんでした。昔は埼玉のこの辺でも栽培していたらしいのですが、今は採算が取れずに何処もやめてしまったそうです。

タネの販売会社に問い合わせると、米や麦などは規制があって種は取り扱えないのだそうで、探し回った挙句、県の試験場に問い合わせた担当の方に少しだけ無料で分けてもらいました。栽培実験の方法を説明したのですが、「どちらかというと乾燥を好む作物なので水に浮かせて栽培するのは難しいでしょう」と言われました。

無理と言われるとやってみたくなる性分なので、工夫してやってみた栽培記録が下の写真です。



11月中旬 小麦と大麦の種蒔き
1畳分の広さの麦用の実験栽培浮き床2枚に
畝巾30cmの床を作り小麦の種をまきました
強い雨でも槌の養分を流さないで畝の溝に流
れてくれるのでないかとこの様な形です。



1月
やっとちっちゃな小麦の芽が出てきます。



2月下旬

大分伸びてきています。
大麦より小麦のほうが良く育っています。
小麦のほうが丈夫なのかな？



3月

野菜を植えていた隣の浮き床では菜の花が満開です。
手前右が小麦で、左が大麦です。



4月

小麦の穂が出始めました。（手前）
奥の大麦は手前の小麦より少し早く穂が出ました。



5月始め

周りの水田に水が入り始めました。
借りている2枚の休耕田は、すぐにでも田植えが出来るとな状態にまでなっています。
ここまでしないと雑草が生えてきて水田が使い物にならなくなってしまうのだそうです。



5月中旬
穂先の色が変わり始め葉も枯れ始めました。
もうすぐ刈り取りです。



6月初旬
麦の刈り取りです。
手前が小麦で、奥が大麦です。



刈り取った小麦です。
小麦のほうだけは殻を取りやすいので1畳
分の収穫データを取ります。



1畳分の面積（0.5坪）の浮き床栽培から
収穫できた小麦です。800g有りました。
単純計算で、10アール当りに換算すると488
キログラムになります。

収穫して乾燥後に脱穀し、畳一枚分の広さで採れた麦の収穫量を計測したら丁度800gありました。

単純計算で10アール当りに換算すると490kg位になります。

実際に栽培するとなると収穫率は低下すると思いますが、今年のデータで畑栽培での麦の10アール当たりの平均収穫量は埼玉県で428kg、茨城県で391kgとなっています。

これらのデータと比較しても見劣りはしませんでした。